

創立55周年

時を知るという事はどれほど重要なことなのでしょう？10年後の自分の姿を予想できますか？一日後の自分の姿、わかりますか？今回御嶽山の噴火によって犠牲者が出ました。ほんのわずかの時間の差により避けることが出来た人、そうでない人が出たのです。人が亡くなった場合別れの葬式をします。私たちは霊界への出発を祝う聖和式を行うのです。亡くなった事は同じなのですが、送り方が全然違うのです。

もし、御嶽山が噴火することがわかっていたならば、その山に登る人はいたでしょうか？いないのです。このように私たちはわからないことが多いのです。なぜこのような話をしたのかと言えば、日本統一教会は人間の意志で出発したのか、神様の意図で出発したのかという事を考えるためです。当時は国交がないため日本に宣教師を送ることが出来る状況ではありませんでした。簡単に成功したわけではありません。しかしその時日本に宣教師を送らなければならない時であったというのです。天の時というものには人間の思いで遅らせたりすることが出来ないのです。その時をお父様も西川宣教師も知っていたのです。どんな犠牲を払ってでも送らなければなりません。このように日本の宣教は簡単にできたわけではないのです。そして日本が歓迎して宣教師を迎えたわけではありません。歓迎されていない立場から逃げ出して東京までいく事により天の摂理の観点から日本が迎えたという条件を立てることが出来ました。そしてその7年後には韓国と日本が国交を回復したのです。日本が受け入れたという条件の中で日本の運勢がどんどん開かれ天運の道が出来ました。そこで日本のオリンピックが決まり急速度に発展していったのです。

55周年を迎えた日本統一教会です。簡単なことではありませんでした。私たちは55周年を迎え何を意識していけばいいのでしょうか。日本の国だけを考えた国になってはいけません。今は私たち一人一人が天から命令を受けた宣教師となって、VISION2020勝利に向けて出発しなければなりません。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 50周年特別路程 (9月2日～11月30日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。

3. 東埼玉教区 伝道三日路程

10月21日(火)～10月23日(木)

4. 第3地区 徳野会長特別集会

期日: 10月24日(金) 10:30～13:00(予定)

場所: むさしのグランドホテル

参加対象: 牧会者、婦人代表、教会スタッフ、全食口

参加感謝献金: 1000円

5. 東埼玉教区 2DAYセミナー

期日: 10月25日(土)～26日(日) 10:00受付、10:30開会

場所: 岩槻ワッツコミセン

6. 世界連合礼拝インターネット中継の案内

日時: 10月26日(日) 午前10時30分

視聴場所: 教会礼拝堂

7. 「2014 秋季清平特別大役事」東埼玉教区ツアー

10月25日(土)～10月27日(月)

69,000円

漢南洞公館、天福宮、旧日本部教会、真の父母様歴史記録院訪問

世界基督教統一神霊協会
東埼玉教区 浦和教会

埼玉県さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長
司会者：伊東哲也
伴奏者：町田滋子

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※聖 歌 聖歌 5番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	奥平昌広
聖 歌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	主人の生活	
※聖歌と献金 聖歌 49番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈祷	全 体
お知らせ	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

「家庭盟誓」は、成約時代を越え、天宙平和統一王国を成し遂げる絶対基準であり、憲法と同じです。万人が認め、尊敬する真のモデル家庭であってこそ、世界を率いていく指導者的家庭の位置に立つようになるという意味です。このように家庭は、天の最大、最高の祝福であり、驚くべき現実です。天一国を創建する礎石になるのです。真の家庭を築くことが、天一国の市民権を獲得する近道になるのということです。

天一国の民は、天地を身代わりした民です。そのため、天でも地でも、どこであっても、この地球星全体のために生きなければなりません。北極に何か問題があれば、北極に対して全体が関心をもって解決しなければならず、南極であれば南極、東洋であれば東洋、西洋であれば西洋、全体が「私の責任だ」と思わなければなりません。「天一国主人」というとき、責任者と主人は違います。責任者はその時々によって離れていけますが、主人は永遠なのです。この地の家庭を中心として主人になるためには、一人ではなく、夫婦で主人にならなければなりません。夫婦だけではありません。四位基台を完成し、三代が主人にならなければならないのです。祖父、祖母、父、母、その次に自分たち夫婦、そしてその息子、娘まで、代数としては三代ですが、段階としては四段階になります。それが天一国主人です。



統一運動

「10.12 東埼玉教区ファミリー大運動会」を開催

日本統一教会創立55周年を記念するファミリー大運動会が行われました。台風19号が接近中で開催できるか心配もありましたが、天の役事により運動しやすい最高の天候の中で、行う事ができました。そして全ての準備を彩の国ファーマーズの壮年によって行いました。午前9:45開会から午後4:00まで、17種目にかけて、教会対抗の熱い熱戦が繰り広げられました。今回は、子供たちの為に出店を6つの教会が準備し、クレープ、フランクフルト、かき氷、パフェ、コーヒー、ちぢみなど、みんなが大喜びの場になりました。そして教会の一体化のために何よりも力を入れたのが、パフォーマンスでした。チームワークと創造性を生かし、教会ごとのパフォーマンスはすごい高いレベルのものでした。浦和教会の「Bounce」をアレンジしたものが一番を取りました。夫婦でサード一致、大縄跳び、綱引き、おしりで風船を割るケツ圧測定、などで盛り上がりました。何よりもみんなを盛り上げたのが、教会別対抗リレーでした。婦人部長からスタートして小学生、最後のアンカー牧会者まで19人が参加するもので、みんなを興奮させるものになりました。地区長も一緒に走ってくださり、最高の盛り上がりになりました。結果発表では昨年を引き続き、浦和南が二連覇を達成、昨年のビリであった浦和が2位にあがる大成長ぶりをみせ、来年にはもっと強いチームになることを決意致しました。閉会式では、優勝カップの伝授と表彰、子供たちが喜ぶ抽選会などが行われました。丁度その時、空に不思議な虹が現れ、神様の祝福を感じることが出来ました。



2014年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2014年 活動指針

1. 伝道の飛躍的發展
2. 真の家庭運動の推進
3. 二世圏伝道・教育強化
4. 新家族的メンヤ活動推進